特別会計の決算

会計名	歳　入	歳　出
駐車場事業	8,190 万円	4,378 万円
国民健康保険	67 億　116 万円	65 億 6,406 万円
介護保険	69 億 2,377 万円	67 億 8,223 万円
後期高齢者医療	14 億　17 万円	13 億 9,921 万円
小型自動車競走事業	270 億 5,559 万円	275 億 3,867 万円

基金残高

令和 7 年度		令和 6 年度	
決算年度末時 令和 8 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 令和 8 年 5 月 31 日現在	決算年度末時 令和 7 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 令和 7 年 5 月 31 日現在
135 億 3,335 万円	132 億 8,964 万円	136 億 3,495 万円	135 億 5,281 万円

※一般会計と特別会計すべての基金残高です。

地方債残高

	令和 7 年度末	令和 6 年度末
一般会計	326 億 3,879 万円	338 億 6,577 万円
市民 1 人あたり	約 57 万円	約 58 万円

※市民 1 人あたりの額は、それぞれの年度の 3 月 31 日現在の人口で計算しています。

みんなのお金の使い道

一般会計の歳出額約 354 億円を市民 1 人あたりで計算すると**約 61 万円**です。そのお金は次のように使いました。

※令和 8 年 3 月 31 日現在の人口（57,695 人）で計算しています。



学校運営や教育振興のため **3 万 7 千円**



ごみ処理や環境を守るため **4 万 8 千円**



農林水産業、商業のため **2 万 3 千円**



市民の健康を守るため **21 万 9 千円**



道路、公園等まちの整備のため **3 万 9 千円**



消防や防災対策のため **2 万円**



その他（市の運営等） **22 万 4 千円**

用語解説

- **自主財源**
  市税や施設使用料等、市が国や県に依存することなく自ら調達することができる財源です。
- **依存財源**
  地方交付税や市債等、国や県から一定の基準に基づき交付されたり割り当てられたりする財源です。
- **地方交付税**
  市の財政力に応じて、国から交付されるお金です。
- **国庫支出金・県支出金**
  事業の財源として、あらかじめ使途が決められたうえで、国や県から交付されるお金です。
- **市債**
  事業を行うために、市が国や金融機関から借り入れるお金です。
- **義務的経費**
  歳出のうち、その支出が義務付けられている経費です。この割合が高いほど、新たな事業等に使えるお金が少なくなります。
- **投資的経費**
  道路、橋りょう、学校、公共施設の整備等、将来に残るものに対して支出される経費です。
- **公債費**
  市債による借入金の元利償還金と一時借入金利子の合計額です。
- **物件費**
  施設の光熱水費や維持補修費、各種委託料等の経費です。
- **補助費等**
  一部事務組合等に対する負担金や各種公益団体に対する補助金等の経費です。
- **繰出金**
  一般会計から特別会計へ支出される経費です。